

縣聯合青年團の 出席者歓迎方法

平驛前より受付所を設置 石城各團代表氏名

陽春四月平町に開催される、本縣聯合青年團總會に就ては、既記の如くであるが、平町青年團並びに石城郡當局に於て出席代表團員歓迎の意に基き旅館及び名所案内勸業博覽會入場割引券を縣下各青年團に送附すると共に、當日は平驛前に受付所を設け、宿舎の案内等を幹旋し、大いに歓迎の意を表する事に努むる筈であるが、期日、豫算審議、事業方法等に關しては來る廿四日縣社會課内に開かる、縣代議員會にて決定する由、因に石城郡内から出席する各團代表者は左記の如くである。

全國青年總會 出場選手豫選

今秋明治神宮外苑で舉行される全國青年体育大會には、本縣から二十四名の選手が、出場する筈であるが、來る四月平町で開催の縣下青年体育大會に際してこれが第一回豫選を行ふ筈である。

八十歳以上の 高齢者招待

石城郡大浦村青年團處女會聯合にて來る廿六日午前十時から同村小學校に八十歳以上の高齢者を招待し、敬老會を開催する筈であるが、其席上大越觀學の講演ある由、學校歸りに

爺様の手傳へ 感心な忠一君

石城郡川前村役場使丁中村良長(名)は一昨年迄警城高等女學校の使丁として十二年間勤めて居たが、寄る年波に職を辭し長男の住む川前村に歸り同村役場の使丁となつたが、役場は高臺にあつた事として五六町の山道を毎日

大瀧問題の 書類提出を 一日間延期

昨報大瀧發電所の計劃は、經營者の小田炭礦社長が縣廳に於て此程明らかに断念を聲明し以前の計劃に基き第一次出願の工事に變更すべく本日迄に關係書類を提出すべき筈であつたが、昨夜小田炭礦及び平電氣の重役會議を開いた結果、未だ其の決意を固めるに至らない者が二三ある爲め書類提出を一日間だけ延期され、度々旨願出たが多分夫れ等の利權熱慾者も大勢の赴く處に逆行しかねて小田氏の主張に

夏季大學は 四倉と決定

縣教育會主催の夏季大學が本年は石城郡にて開催されるの旨は既記の如くであるが、郡内に於ける小名濱江名四倉等は夫々開催地たらんと競争中の處、昨十七日教育會場にて四倉町小學校を以て期日や講師は縣教育會が

水を下げて運ぶのが容易でない様を見た孫の忠一(三)が毎日學校の歸途手傳へを爲し水汲みや雑布掛けをして働いて居ると

これから青春の命を 縮める者が殖える

芽生ぬ時だけに御注意を 橙村署長語る

鶯の聲もいよ／＼聞かれるやうになつて日一日と木の芽が萌え出しやがて丘に堤に黄昏の夕もやの中は燦爛たる櫻花を眺めるのも程遠くはない

季節に なつて來た

が例年この浮々しい時となれば精神的に又肉體的に種々なる原因から自殺を圖るもの又は心の駒の狂や情死を圖るもの或は喧嘩口論によつて血まみれ騒ぎを起すものなどが少くないやうであるが、兎に角この時機になつて來ると總ての芽生え時だけに

失戀の 結果世をは

かなみ或は病氣を苦にして又は學業の不成績をなげい



小豆あんの造り方

材料の小豆小合、砂糖二百匁、小豆を洗つて鍋に水と共に入れ、水にかけて茹でます。煮立つて來たらば下ろして小豆の水を取りかへ

小松局長出仙 小松平郵便局長は十九廿の兩日仙臺遞信局に開催される二等局長會議に出席の爲め十八日出仙すると

不平受付

投書歓迎

盛典記念の爲め設備すべし、及び児童文庫の費用は四千七百五十圓で其内譯左の如くである

無札の老爺

茨城縣多賀郡關本村大字福田目下住所不定大友正二郎(名)は十七日平驛午後七時五十七分平驛着にて無札の儘平驛に下車し苦悶し初めた爲め行路病者として平町役場に引渡したと

記念品の費用

既報 平第一第二兩小學校銀婚御再び火にかけて茹でます。斯様に軟くなるまでに水を二三回とりかへながら茹でると小豆の灰汁がそれ同時に軟くふつくりと茹でります。小豆の皮が破れる位まで軟くなつたらば下ろし、すり鉢に小豆の汁と共に入れてよくすり潰し水を加へて伸し裏こし又は笊をあて

公人私人

○橙村慶氏 (平警察署長) 警察事務視察の爲め十八日から七日間の豫定で東

募集

海道及び關西方面視察に出張した
○栗原平郵便局主事 山形市郵便局に榮轉し明十九日午前九時平驛發にて赴任する由

演藝だより

○聚樂館 今晚から東洋軒華秀一座の浪花節に依つて蓋を開けたが華秀の語り物は、百萬兩寶入船、伊藤博文、女大學、米國ペルリ軍神乃木等長講二席で此外小樂雲や呑風其他出演する

平町人事

△七軒町二八 荒川源太郎氏長男正
△鎌田町三三 宮本熊吉氏長女静江
△長橋町三三 小野善七氏長女レイ子
△鍛冶町二七 吉田伴吉氏二女要子
△初瀬澤一〇〇 金子光一氏四男辰夫
△白銀町三三 菅野金次郎氏二女久子
△紺屋町二四 大森政雄氏二男英治
△紺屋町二九 藤沼平次郎氏二女